



FP CORPORATION

ESG
HANDBOOK



株式会社 エフピコ

もっとも高品質で環境に配慮した製品を どこよりも競争力のある価格で 必要な時に確実にお届けする エフピコグループ



私たちエフピコが製造する食品トレーや容器は、食品製造の現場からスーパーマーケットなどの小売店を経て消費者の皆様
の毎日の食卓に新鮮で美味しい食品をお届けしています。

原料の調達、製品開発、製造、物流、販売、リサイクルの
バリューチェーンを循環・発展させていくなかで、私たちは
ステークホルダーの方々と様々な形で繋がっています。そして、
エフピコのバリューチェーンは、SDGsに沿った社会的価値を
創造しています。

私たちは、事業を展開することにより、より良い社会の創造と
持続可能な社会の実現を目指してまいります。

株式会社エフピコ
代表取締役社長
佐藤 守正



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

8 12

調達の重要性を認識して脱炭素社会実現のための配慮を行っているだけでなく、資源生産者として地上資源からリサイクル素材を生産しています。

4 11 12 13 15

消費者・流通業者・販売業者をエフピコが繋いで協力体制を築き、社会全体で製品リサイクルの輪を回しています。

9 12

軽量化、ロスストックなど環境負荷の低い製品の開発を行っています。



8 12

食品製造会社やスーパーマーケットなどのお客様との協働による提案型営業を行い、常にアイデアを提供しています。

7 9 12

必要な時に必要とされる量の製品を提供するため、ハードとソフトの両面における生産体制を整えています。

7 9 12

製造した製品をタイムリーに低い環境負荷でお客様へと届けるだけでなく、配送の帰り便を活用して製品のリサイクルにも寄与しています。



- 気候変動問題への対応
- 廃棄物の削減・リサイクル など



- ダイバーシティの推進
- 地域社会への貢献
- 労働環境の改善
- CSR調達 など



- 内部統制
- コンプライアンスの遵守
- リスクマネジメント など



環境への取り組み

- お客様との協働によるリサイクル
- リサイクルの成果
- リデュースによる環境負荷低減施策
- 生産工場における省エネルギー化
- 資源の有効利用と廃棄物
- 水資源の管理

7 12 13 14 15

社会の中のエフピコ

- 障がいのある人材の活躍
- フロアホッケーを通してのダイバーシティの尊重と社会貢献
- 障がい者の雇用コンサルティング
- 女性の活躍推進と働きやすい職場づくり
- 人材育成と社内外教育
- リサイクル工場見学者とのコミュニケーション
- コミュニティへの参画
- 海洋プラスチックごみ問題について
- 食品ロス問題への対応
- 働く環境の整備
- 従業員の健康と安全
- サプライチェーンマネジメント
- 製品の品質と安全性

3 4 5
8 11 14 16

ガバナンス

- 内部統制
- コンプライアンスの遵守
- リスクマネジメント

16 17

ESG 指数

「FTSE4Good Index Series」及び
「FTSE Blossom Japan Index」
の構成銘柄に初選定されました。

(2019年6月)

環境・社会・企業統治 (ESG) に対して
優れた対応を行っている企業の
パフォーマンスを反映するインデックス



世界の**1,034**社の中の
1社が**エフピコ**



日本の**179**社の中の
1社が**エフピコ**

第1回ジャパントイムズESGアワード
ESG部門優秀賞

(2019年9月)



E 環境

- 気候変動問題への
対応
- 廃棄物の削減・
リサイクル など

使用済み容器は、帰りに載せられて全国に配置した選別センターやリサイクルセンターへと運ばれます。新しい容器の原料へと再生するリサイクル工場は関東、中部、福山の3カ所。ひとつ数グラムの容器が毎日数十トンリサイクルされ、食品容器へと生まれ変わっています。





リサイクル効果
エコ製品による
年間CO₂排出削減量
約**13.5**万トン

環境負荷低減施策
製品軽量化
約**30**%
ロースタック化
約**45**%

(※新製品の事例)

お客様との協働によるリサイクル

エフピコのお客様であるスーパーマーケット様、コンビニエンスストア様、惣菜製造会社様などに対して、エフピコが展開している環境負荷低減活動を様々な機会で紹介しています。

エコトレー、エコAPET・エコOPETを積極的に使っていただくことはCO₂の削減に大きく寄与し、お客様の企業力向上にも繋がります。使用済み食品容器の回収からエコ製品のご購入までエフピコとお客様が協働することにより、環境問題への取り組みが大きく前進します。

消費者の皆様は容器を捨てずに洗浄して乾燥し、回収ボックスに持参いただけます。



使用



購入した容器に入った食品を調理、加工、盛り付けて豊かな食卓が出来上がります。

消費者の皆様



洗浄・乾燥



スーパーマーケット様など



販売



精肉、鮮魚、惣菜、弁当、青果などの食品を容器に入れ、陳列して販売。

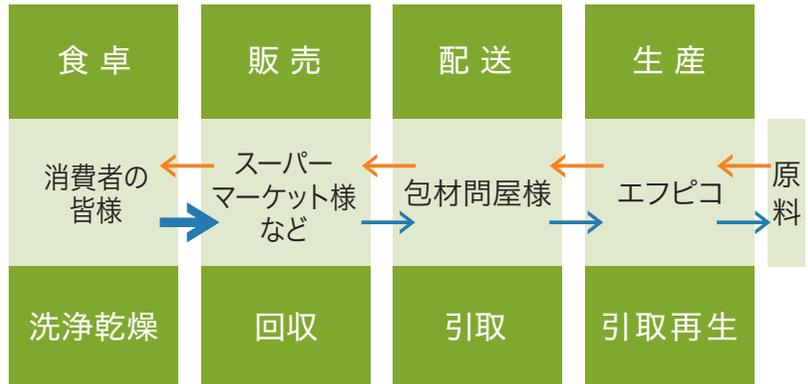
配送



エフピコ製品を仕入れた包材問屋様がスーパーマーケットやコンビニエンスストアへと配送。

持続可能な社会の
発展を実現する
リサイクルシステム

4者一体のエフピコ方式のリサイクル



回収

全国約9,200カ所の回収拠点で使用済みの発泡トレーと透明容器・PETボトルを回収していただいています。



保管・運搬

スーパーマーケットなどへ納品した後、使用済み容器を回収し一時保管の後、エフピコのリサイクル施設へと運搬。



包材問屋様



エフピコ



再生



エフピコの選別センターとリサイクル工場へと持ち込まれ、いくつもの工程を経て新しい製品へと再生されます。

生産



全国19カ所の工場 で生産。リサイクルした素材を使ったエコ対応製品もたくさん製造しています。

リサイクルの成果

再生原料を使用した発泡容器「エコトレー」と透明容器「エコAPET・OPET」は、バージン原料を使用した時に比べ大きなCO₂削減効果があります。その差は約30%。1年間でCO₂排出量に換算すると約13.5万トンという膨大な量になります。

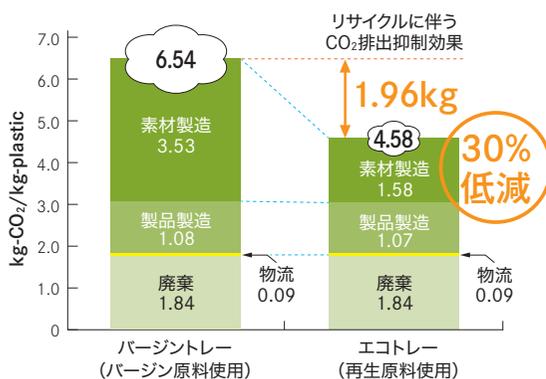
CO₂削減
年間**13.5**万トン



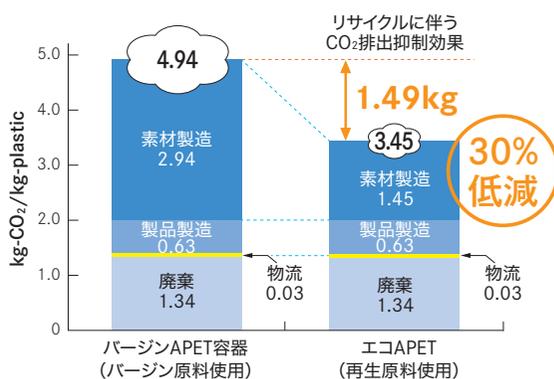
CO₂排出
30%
低減



エコトレー エフピコ製品比較

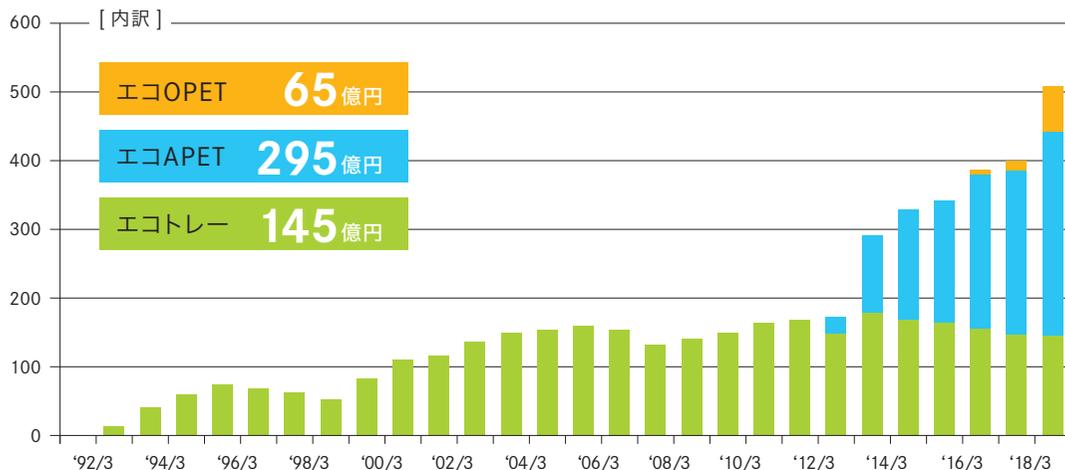


エコAPET エフピコ製品比較



エコ製品売上全体: **506** 億円 (2018年4月~2019年3月)

エコ製品販売推移



リデュース等による環境負荷低減施策

リサイクルだけでなく製品素材の使用量を減らす取り組みや、効率的な製品の保管・運搬の工夫による省エネルギー化も継続して進めています。

軽量化

素材変更や薄肉化により製品の軽量化を継続的に行っています。下の例でも約3分の1の軽量化となり、CO₂の削減に繋がります。また製品全体で、2020年までに2013年度比5%の軽量化・薄肉化を目標としています。



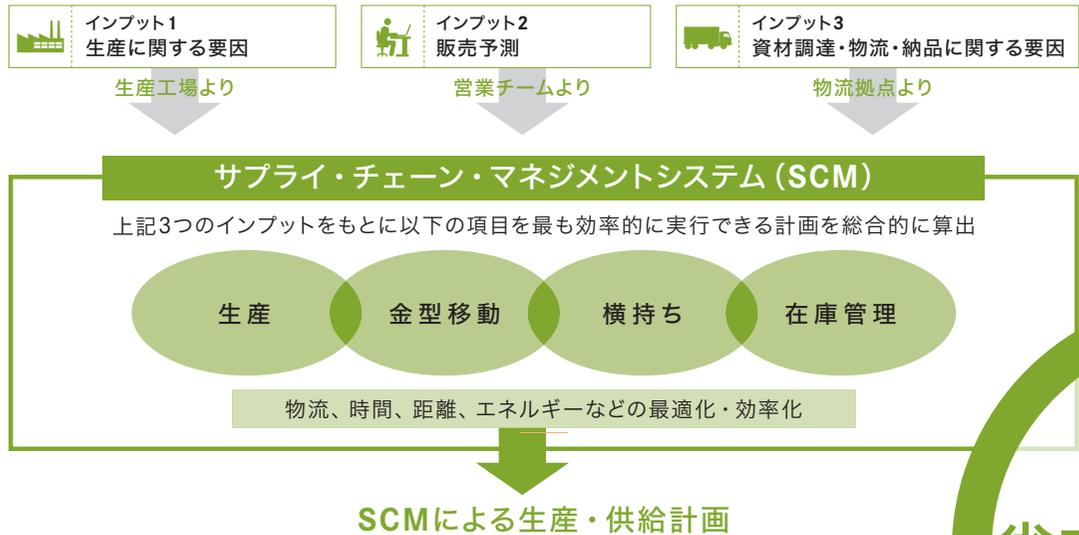
ロースタック化

製品を保管・運搬する際のスタッキングに注目した施策です。たくさんの製品をより小さい容積でスタックすることにより、在庫スペース、梱包用段ボール、運送などに関する環境負荷を低減することができます。



生産工場における省エネルギー化

エフピコの約1万種類にも及ぶ製品の高精度の計画生産及び製品のタイムリーな配送を実現しているのはサプライ・チェーン・マネジメント (SCM) システムです。膨大な情報を基に作成された最適な生産・物流計画は、生産の省エネルギー化に繋がり、生産と物流活動におけるCO₂排出の削減にも大きく寄与しています。



徹底
省エネルギー
と省資



資源の有効利用と廃棄物

一般家庭から排出される使用済み食品容器やPETボトルを食品容器に再生利用するリサイクルを積極的に拡大し推進しているだけでなく、製品及びサービスの省資源化を徹底して実践しています。



使用済みPETボトルや製造過程の廃材(上)を再利用して製品素材(下)に。

した
ギー化
源化

水資源の管理

社会の基本的インフラとして、水資源保全を重要な環境課題であると認識しています。水利用については、生産拠点の地域ごとの状況を理解して限りある資源を有効活用する必要があると考えており、次のような対策を実践しています。

- リサイクル工場において水ろ過装置を導入し再利用することで新規使用量を削減
- 生産工場において冷却水の循環設備を標準導入

S
社会

- ダイバーシティの推進
- 地域社会への貢献
- 労働環境の改善
- CSR調達 など

1986年、発泡トレーの製造において障がいのある人材の雇用がスタート。リサイクル事業開始以降は回収された使用済み容器の選別作業などにも障がいのある人材の活躍の場が広がっています。





障がいのある社員

359名

(2019年3月現在)

障がい者雇用率

13.6%

(2019年3月現在)

工場見学者数

年間約2万人

育児休業復帰率

100%

(2018年度)

MSCI 

2019 Constituent
MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)
構成銘柄(2019年6月)

障がいのある人材の活躍

エフピコグループにおいては障がいのある社員は使用済み容器の選別と食品容器製造という基幹業務で活躍しています。経営として成り立ち、働いて生きていくという当たり前のことを実現する障がい者雇用の歴史は30年を超えました。これからも新しい課題に取り組む努力を続けていきます。

障がいのある社員
359名

障がい者雇用率
13.6%

(2019年3月現在)

1986

発泡トレー製造で障がいのある人材の雇用を開始

- ▶ 1986年1月 (株)ダックス設立(現・エフピコダックス(株)千葉工場)



(株)ダックス竣工式

1995

透明容器製造にも拡大

- ▶ 1995年4月 (株)ダックス四国(現エフピコダックス(株)高知工場)
- ▶ 2006年4月 (株)ダックス佐賀(現エフピコダックス(株)佐賀工場)



透明容器製造

2006

折箱タイプ容器製造で営利法人初の就労継続支援A型事業を開始

- ▶ 2006年10月 広島愛パック(株)(2009年エフピコ愛パック(株)と統合)
- ▶ 2007年3月 エフピコ愛パック(株)設立
(2007年~2009年に全国で7工場開設)



折箱タイプ容器製造

2008

回収トレー選別へと拡大

- ▶ 2008年~2010年 エフピコ愛パック(株)の事業所として全国に4選別センター開設
- ▶ 2009年8月 (株)茨城ピジョンリサイクル設立
(現エフピコダックス(株)茨城選別工場)



回収トレー選別(発泡トレー)

2017

全国規模の特例子会社に再編

- ▶ 2017年1月 エフピコダックス(株)設立(特例子会社4社合併)
高知工場(本社)、千葉工場、佐賀工場、北海道工場、福山選別工場、茨城選別工場



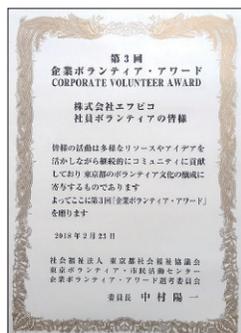
回収トレー選別(透明容器)

フロアホッケーを通してのダイバーシティの尊重と社会貢献

2010年から、エフピコではフロアホッケー活動を行っています。全国の拠点でエフピコグループの社員約600名（障がいのある社員約200名、障がいのない社員約400名）が全国9つのエリアで活動しています。さらに、エフピコ杯全日本フロアホッケー競技大会、ユニバーサルフロアホッケー中国四国大会～エフピコ杯～ではグループの社員がボランティアとして運営を支えています。



フロアホッケー活動によりエフピコは、第1回広島県あいサポート運動企業表彰（2016）、第3回企業ボランティア・アワード（2018）、東京都スポーツ推進企業（2018）、スポーツエルカンパニー（2019・スポーツ庁）、心のバリアフリーサポート企業（2019・東京都）に選ばれました。



障がい者の雇用サポート

お取引先様（食品スーパーマーケット様、惣菜の製造・販売会社様等）に対して障がいのある人材の雇用のサポートを行い、2019年8月までに40社666名の障がい者雇用が新たに生まれました。

40社
666名
の雇用創出

（2019年8月まで）



女性の活躍推進と働きやすい職場づくり

女性社員の職域拡大、管理職の増加を目指す取り組みに関して「女性の活躍推進宣言」を厚生労働省のポジティブアクション情報ポータルサイトに掲載しています。女性の総合職採用30%以上を目指し、2022年までに女性の管理職を50名とするよう取り組んでいます。エフビコの女性社員のほとんどは結婚後も離職せず、女性社員の育児休暇取得率も100%です。勤務時間については育児の段階に合わせて8パターンの時差出勤を設定しているほか、子供が小学校入学前まで短時間勤務を希望者全員に認めています。

これらの取り組みと実績から、性別多様性に優れた企業を対象に構築されるMSCI日本株女性活躍指数(WIN)構成銘柄に3年連続して選定されています。



育児休業
復帰率
100%

(2018年度)

人材育成と社内外教育

組織を支える人材育成を目的とし、エフビコでは様々なプログラムを実施しています。その対象のほとんどはエフビコグループ全企業の社員であり、他企業との交流という形で実施する場合があります。

マンツーマンリーダー研修会

新入社員の育成担当に任命された社員のことで、約半年から1年間メンターとして新人の教育係となります。メンターとなるための研修ですが、同時にリーダー自身の教える力のスキルアップも目的としています。



次世代研修

エフビコの次世代を担う社員を育成するため約半年間にわたって実施するプログラム。「自分の頭で考える」をテーマに変化の激しい現在のビジネス環境の中で自分の力で答えを創り出し、変化に対応できる社員となるための研修です。



異業種交流会

「他社との交流を通じて“ものの見方・とらえ方”を学ぶ」というテーマで異業種の企業との合同研修にも参加しています。日々の業務に慣れて情報収集力が鈍り、決めつけによる行動に陥りがちな状況に対して新しい意識づけをすることを目的としています。



その他各種研修会

女性マネージャーと上司の相互理解を深める研修、管理職候補を対象とした研修や経理・財務に関する実務のスキルアップのための経理部研修、ESGやSDGsという非財務情報による企業価値創造について勉強する環境関連研修会なども実施しています。また、勤続10年以上のエフビコグループ社員を対象とした約40名参加のハワイ研修では、現地のスーパーマーケットの視察とグループ企業間の交流を目的として年に一回開催しています。

リサイクル工場見学者とのコミュニケーション

リサイクル工場の見学に毎年約2万人の方々をお迎えしています。教育機関、消費者団体、自治体などその内訳はさまざまですが、スーパーマーケットなどに設置の回収ボックスに入れた使用済み容器がリサイクルされる現場を間近でご覧いただけます。



年間来訪者
2万人

コミュニティへの参画

消費者の方々と交流することは、コミュニティへの参画という意味でも消費者課題の解決策提供という観点からも非常に重要であると考えています。各地のイベントへの参加、スーパーマーケット様との協働で店内ブースの設置、環境をテーマとした小学校への出張講座、学生インターンシップの受け入れ、教員研修の受け入れなどを積極的に行っています。

2018年度に全国各地で開催されたイベントへの参加状況

日付	イベント名	開催地	主催
2018/5/19~20	福山ばら祭2018	広島県	福山市
2018/6/2	八王子環境フェスティバル	東京都	八王子市
2018/6/3	環境の日ひろしま大会	広島県	ひろしま地球環境フォーラム
2018/6/2~3	エコライフフェア2018	東京都	環境省
2018/8/19	エコワールドフェス	大阪府	おおさかATCグリーンエコプラザ
2018/9/29	ふくやまサイエンスフェスティバル	広島県	福山市立大学
2018/10/10~12	エコテック2018	福岡県	北九州市
2018/10/14	新宿区3Rもったいない環境イベント	東京都	新宿区
2018/10/27~28	やまかた環境展	山形県	山形県
2018/11/3	こどもエコクラブ&おおさかATCグリーンエコプラザ交流会	大阪府	おおさかATCグリーンエコプラザ
2018/11/10~11	長崎エコライフフェスタ2018	長崎県	長崎市
2018/11/10	いたみ環境&リサイクル・フェア2018	兵庫県	伊丹市
2018/11/17~18	じばさんフェア2018	広島県	備後地域地場産業振興センター
2018/12/8	駅前小学校でリサイクル	広島県	株式会社オンライン
2019/2/16	一宮市消費生活フェア	愛知県	一宮市
2019/2/16	とりeco環境フェスタ	鳥取県	鳥取県
2019/3/3	新宿区こども祭り	東京都	新宿区
2019/3/25	こどもエコクラブ全国フェスティバル2019	東京都	日本環境協会

海洋プラスチックごみ問題について

海洋プラスチックごみの主な原因は「ポイ捨て」です。食品容器は回収ボックスに持ってきていただくことにより再生可能な「資源」になることを消費者の皆様にも再認識していただくための様々な活動を積極的に展開する中で、「トレー to トレー」「ボトル to トレー」の循環型リサイクルを一層推進してまいります。また業界団体を通じて「プラスチック海洋ごみ問題の解決に向けた宣言活動」に参画し、業界団体と連携した活動を推進していきます。

「G20 イノベーション展」 出展

2019年6月14日～16日、長野県軽井沢町で開催された「G20イノベーション展」に出展しました。



「ジャパントイムズ ESG アワード」受賞

2019年9月6日、ミッドタウンカンファレンスにおいて表彰されました。



第1回「CLOMAフォーラム」登壇

2019年7月20日、海洋プラスチックごみ問題の解決に向けた情報交換を目的とした「CLOMAフォーラム」が開催され、当社常務取締役西村が登壇。「エフピコ方式のリサイクル」をはじめとするエフピコグループの環境への取り組みを紹介しました。



エフピコが参画している関係省庁の取り組み

経済産業省	「クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス」 素材の提供側と利用側企業の技術・ビジネスマッチングや先行事例の情報発信等を通じた情報の共有、研究機関との技術交流や技術セミナー等による最新技術動向の把握、国際機関、海外研究機関等との連携や発展途上国等への情報発信などの国際連携、プラスチック製品全般の有効利用に関わる多様な企業間連携の促進等の活動を展開予定。	
環境省	「プラスチック資源循環戦略」 ・2030年までに再生利用を倍増 ・2030年までにバイオマスプラスチックを約200万トン導入	
農林水産省	「プラスチック資源循環アクション宣言」 プラスチック資源循環の問題への対応を国民の理解を得ながら促進する一環として、農林水産・食品産業の業界団体・企業から、プラスチック資源循環に資する自主的取組を広く募集。	

食品ロス問題への対応

食品ロス削減を実現するためには、容器包装の本来の機能である「中身の保護」が重要なことと認識しています。また「鮮度保持・小分け」という基本的な機能から発展した、容器包装の高機能事例として「輸送時の損傷軽減」という観点でエフピコグループの「ふわーと」が農林水産省のホームページでも紹介されています。

働く環境の整備

すべてのエフピコグループ社員が働きがいを感じながら充実した人生を過ごすことができるよう、様々な角度から労働環境の向上と生活の支援を行っています。

社員のワークライフバランス支援

フレックスタイム制、始・終業時刻をスライドする時差出勤、5日間の連続有給休暇（スマイル休暇）取得の義務化、ノー残業デーの設定などにより、労働時間配分を主体的に考え行動し、労働時間の最適化を図る働き方改革を推進しています。

プライベートライフ充実のサポート

各種スポーツなど社員が集まって趣味で行っているレクリエーションを活動費の提供という形でサポートしているほか、歓迎会なども補助の対象となっています。

従業員の健康と安全

安全衛生委員会の設置

すべてのエフピコグループ社員が働きがいを感じながら充実した人生を過ごすことができるよう、様々な角度から労働環境の向上と生活の支援を行っています。

健康と安全のための様々なプログラム

社員が健康な状態で毎日を過ごし、安全な環境で働けるよう下記を含む様々なプログラムを実施しています。

けんこうセミナー

社員の心身の健康について維持増進を図るために毎年「けんこうセミナー」を開催しています。

安全運転研修

新入社員研修の一つとして「ドライビング研修」を毎年実施しています。外部ドライビングスクールで1日をかけて安全運転について学びます。また、主要営業拠点にて、交通事故を未然に防ぐための外部講師による自動車安全運転講習会を行っています。

フォークリフト事故撲滅プロジェクト

フォークリフトは軽自動車約3台分の重量があり、人命に係る重大な事故につながる可能性があるため、エフピコ物流では2015年に「フォークリフト事故撲滅プロジェクト」を立ち上げています。第三者の客観的なチェックと作業にあたる人材の育成を目的とし、事故防止に努めています。

危険体感講習

2015年より労働災害防止の一環として「危険体感装置」を導入し教育を開始しました。2017年より新たにユニットハウス2基に専属講師を付け「危険体感装置」（7種類）の全国展開を実施しています。

VR体験

2018年より「バーチャルリアリティ危険体感装置」を導入しています。CG映像と触覚手袋から伝わる衝撃や感触によって、視覚・聴覚・感覚を刺激する臨場感のある疑似体験を通して、危険に対する感受性を高める教育を実施しています。「ベルトコンベアーへの挟まれ」「ローラーへの巻き込まれ」「高所からの転落」の3つのシナリオを用意しています。

サプライチェーンマネジメント

事業で使用する原材料や製・商品等は、資源の採掘から加工・製造、販売という長いサプライチェーンを経て調達しています。その過程で環境汚染や人権問題などに配慮された製品・サービスを調達することは事業者としての責務です。サプライチェーンにおいて、「直接購買する対象がその生産、流通の段階で児童労働や不法就労等の人権侵害でないことを確認」し、お取引先様に協力を要請して参りました。新製品開発や新しい工場等の建設の際には、品質・環境など様々なアセスメントを実施し、人や地域社会への影響評価を行うことで人権への配慮を進めています。

1. CSR 調達方針

エフピコグループではエフピコグループ行動憲章に則って「CSR調達方針」を制定し、調達における環境・社会配慮を推進しています。

エフピコCSR調達方針

1. 品質本位

お客様にとって価値ある安心・安全で高品質な製品・サービスをご提供するにあたり、調達活動は当グループの「品質方針」に沿って品質と安全を最優先し、さらにコストについても重視いたします。

2. 公正な取引

経済合理性、適正な品質、納期の厳守、社会規範の遵守、社会的課題への配慮、環境配慮などを総合的に勘案し、公正、透明な方法でサプライヤーを選定します。正当な理由なく、特定の取引先に利益を供与したり、不当な不利益を課するようなことはしません。

3. 法令等遵守

調達活動においては、法律及び社会規範を尊重し、いかなる場合もこれらに違反しません。反社会的勢力とは一切の関係を持たず、不当な要求は拒絶します。

4. 社会的課題への配慮

基本的人権を尊重し、労働安全衛生に配慮し、不当な差別や強制労働や児童労働などの人権侵害を行わないサプライヤーとの取引、製品・サービスの調達に努めます。

5. 環境への配慮

当グループの「環境方針」に則り、環境負荷低減の取り組みを推進し、気候変動、生物多様性などの環境問題の抑制や緩和に資するサプライヤーとの取引、製品・サービスの調達に努めます。

6. サプライヤーとの協働

調達にあたって社会的課題や環境への配慮をサプライチェーンにわたって実践するため、サプライヤーと長期的な信頼関係を築き、共存共栄を図ります。サプライヤーと協働しリスクの適切な管理と未然防止を徹底し、社会と経営への影響を回避する取り組みに努めます。

2. エフピコグループ購買ガイドライン

上記「CSR調達方針」に基づき「エフピコグループ購買ガイドライン」を設けています。ホームページをご覧ください (https://www.fpco.jp/esg/sc_management.html)。

製品の品質と安全性

エフピコグループでは、安全・安心して使用いただける製品づくりを目指して、全国の生産工場においてPDCA方式のマネジメントにより品質向上の努力を継続して行っています。

品質方針

お客様の満足度を第一に、環境に優しく安全・安心して使用頂ける製品作りを目指します。
本方針を実行・維持・継続する為に私たちは下記の事項を確立します。

1. お客様の要望を的確に捉え、対応できる品質マネジメントシステムを構築し、推進・維持・確立する為の経営資源を投入する。
2. 本方針の推進の為に、具体的な品質目標を定める。
3. 食品衛生法等の関連法規を遵守する。
4. 市場の変容、各工場の改革等に合わせ本方針を定期的に見直し、適切性を持続する。
5. 本方針を全従業員に理解させる為にあらゆるコミュニケーションの場を通じて周知・徹底を行う。

製品安全方針

エフピコは食品容器を通じて豊かな社会を創造する企業グループを目指し、食文化・食生活の変化を先取りし、お客様満足度を第一とした安全で高品質な製品とサービスを提供します。

- ・食品衛生法をはじめとした法令や、業界基準等の要求事項を遵守するとともに、文化や慣習を尊重して事業活動を行います。
- ・社会に有用な製品・情報・サービスを提供し、消費者・顧客の満足と信頼獲得に努めます。
- ・安全・安心・環境に配慮した製品を開発、提供し、もって豊かな食生活の創造に寄与します

FSSC 認証

エフピコの生産工場ではFSSC認証（食品安全管理を実践するためのマネジメントシステム規格）の取得を進めており、2018年8月中部エコベット工場で認証登録を完了しました。2020年6月までにエフピコの主要工場へ拡げてまいります。これらは2020年6月施行の厚生労働省の食品衛生法等の一部改正に基づくPL（ポジティブリスト）制度やGMP（適正製造管理）に対応しています。



- 内部統制
- コンプライアンスの
遵守
- リスクマネジメント
など

内部統制

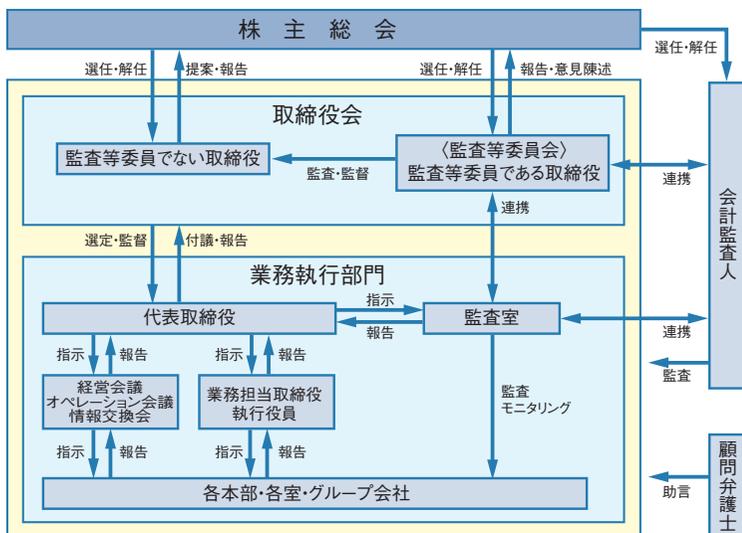
エフピコは持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指し、経営の意思決定の迅速化と並行して取締役の職務執行の監査・監督機能を強化することで、コーポレート・ガバナンスの更なる充実を図っています。独立社外取締役及び社外取締役で構成される監査等委員会が経営監視の役割を担い、透明性の高い経営の実現に取り組んでいます。

コーポレートガバナンスの 基本方針

- ① 株主の権利・平等性の確保
- ② 株主以外のステークホルダーとの適切な協働
- ③ 適切な情報開示と透明性の確保
- ④ 取締役会の責務
- ⑤ 株主との対話

内部統制システムの概要を含む

コーポレートガバナンス体制についての模式図



コンプライアンスの遵守

経営理念に基づき、社員がどのように行動すべきかを示した「エフピコグループ行動憲章」、さらに同憲章の精神に則った「エフピココンプライアンス行動規範」を制定して行動準則として定め、コンプライアンスを最優先とした行動を遵守する方針としています。

エフピコグループ行動憲章

私たちは、エフピコの経営理念に基づき、法令、協定および社内規程等を遵守するとともに、高い倫理観と社会的良識をもって、以下のとおり行動する。

1. 社会に有用な製品・情報・サービスを提供し、消費者・顧客の満足と信頼の獲得に努める。
2. 安全・安心・環境に配慮した製品を開発、提供し、もって食文化の発展に寄与する。
3. 消費者・顧客の協力を得て、「エフピコ方式（トレー to トレー）、（ボトル to トレー）」の循環型リサイクルを積極的に推進し、拡大生産者責任を果たし、地球環境の保全に努める。
4. すべての事業活動において、公正、透明、自由な競争を行う。
5. 株主や製品の利用者と広くコミュニケーションを図り、企業情報を積極的かつ公正に開示する。
6. 人権と個性を尊重した安全で働きやすい職場環境を実現する。
7. 政治、行政、取引先等とは、健全かつ正常な関係を保ち、市民社会に不安と脅威を与える反社会的勢力および団体の不当・不法な要求には一切応じない。
8. 良き企業市民として、積極的に社会貢献活動を行う。
9. 海外においては、各国の法令を遵守し、文化や慣習を尊重して事業活動を行う。
10. 経営全般にわたり有効性を評価し、合理化、効率化に努めて企業価値を高める。
11. この行動憲章に反するような事態が発生したときは、全員で問題解決にあたり、原因究明と再発防止に努める。

リスクマネジメント

自然災害、人的要因または機械要因で発生する事故、悪意ある第三者による障害など様々なリスクを想定した対策を講じています。

1. **災害時対策**：全社員に携帯を義務付けている「災害時用ハンドブック」、ヘルメットや救急用品などの緊急時対策備品の整備、災害時に発動する安否確認システムや災害時優先電話の設置など自然災害の発生からの事業継続を想定した対策を講じています。また福山本社や各地の拠点には非常用発電装置を配備しているほか、瀬戸内海に面する福山市箕沖町のエフピコグループ敷地には高波対策として約2mの高さの防潮堤を設置、福山本社は浸水対策として執務エリアを2階以上に設置しています。
2. **製品品質のリスクへの対応**：品質方針についてはホームページ (https://www.fpco.jp/esg/managementeffort/risk_control.html) をご覧ください。
3. **事故・危険防止策**：安全衛生委員会の設置による部署の垣根を超えた安全対策情報の共有、生産・リサイクル工場における定期的な避難訓練、フォークリフト事故撲滅プロジェクトなど危険を伴う作業の対策プログラム、VR危険体感による安全教育などの対策を実施しています。
4. **情報・セキュリティ対策**：大型複合施設におけるナンバープレートによる登録制の入退場管理を行うセキュリティゲートの設置、パソコンデータの定期的なバックアップ、非常時対応用の外部データセンターの活用、回線の二重化、社外メール誤送信回避システム、専門業者によるPC廃棄などを実践しています。また、情報資産の取扱い管理方法等のルール遵守を徹底し、情報資産の不正利用や漏洩防止に努めています。

は調理にかかると時間を、生活を豊かにする他の活動時間に充てられるからです。世界中の企業が環境に配慮した製品を開発していますが、究極のゴールはCO₂を減らすことにはありません。豊かに生きられる「社会を実現すること」です。エフピコの食品トレーは、人々の「幸せ」をつくっている——エフピコ社員の皆さんにはそんな意識を持ってほしいですね。

エフピコの製品が人々の「幸せ」に貢献している

——エフピコはどのようなことに貢献しているのでしょうか。

浅利 たえば、「生物多様性」への貢献があります。京都大学には「森里海連環学」という考え方がありますが、雨は森を育み、里を潤し、海を支えている。つまり、水を介して森・里・海・人がつながっているということです。海ごみは、海辺に投げ捨てられたごみよりも、内地で適切に処理されずに水域にいきついたものの方がはるかに多いと言われています。「エフピコ」方式リサイクル^{※1}によって食品トレーを回収し、閉鎖的な循環を実現させ、「ごみを出さない」ことは、生物多様性を守ることに繋がっています。

末吉 「閉鎖的な循環」を実現するために不可欠なのは、消費者のご協力。エフピコの製品が人々の「幸せ」に貢献していることをもっと打ち出していくべきです。また、製品の「中身」がまさに生物多様性ですから、ハードをつくる企業として海を汚さずに生物多様性を守っていることもPRしていく。そのようにして、回収に協力してくれる消費者を増やしていくことが大切です。

浅利 「RE100」^{※2}、「2」などのインパクトのある数

値目標も出てきているので、消費者の関心をひくようなPR活動を実施してほしいですね。

末吉 先日、アメリカに行った際も「Renewable and Recyclable」^{※3}と書いてある紙皿を目にしました。エフピコも、エコマークだけでなく、もっとインパクトのあるアピールをしていく時代に入ったのです。

エフピコだからできるイノベーション

——私たちエフピコ社員にとって、大切にすべきことは何でしょうか。

末吉 第一歩は「社員への周知」です。現在のエフピコの姿は初めからあったわけではありません。「エフピコ」方式リサイクルの歴史を社員全員が理解することが大切です。つまり、他社が「気付こうとしなかった」「行動しなかった」ことに必死で向き合ってきた歴史。故・小松会長は「長期的な視野」を持ち、プラスチックが将来バッシングを受けるリスクを考えていました。そのような積み重ねがあって、今日のエフピコがあることを社員の皆さんにしっかりと理解してもらいたいですね。

浅利 福山本社にお伺いしたときも、アフターファイブに若手社員の方が集まって議論をしている様子を拝見しました。リスクもチャンスも答は現場にあります。会社や上司が「考えてくれるだろう」という気持ちではなく、社員の皆さん一人ひとりが自分ごととして仕事ができる雰囲気大切にしていたのだと思います。

末吉 世界を見渡すと外食チェーンや飲料メーカーは新たな資源の開発を急ピッチで進めています。プラスチックよりも優位性がある資源が、イノベーションによって生み出される可能性もあります。

現在の立場に安住することなく、さらなる進化を続けてください。

浅利 そうですね。今後は、バイオマスや生分解性プラスチックなど、さまざまな可能性を検討しなければならぬフェーズに入ってくるでしょう。しかし、エフピコには他社にはない技術力や開発力があります。時間がかかっても新たな可能性に挑戦し、エフピコだからできるイノベーションを起こしてほしいですね。

——最後にエフピコの社員に向けてメッセージをお願いします。

浅利 エフピコの仕事はSDGsのどれにも当てはまりません。自分なりのSDGsを考えながら、普段の業務にあたっていただきたい。「幸せ」な社会をつくる主役は、エフピコの皆さん一人ひとり。今後も消費者を巻き込んだ活動を続けていってください。

末吉 エフピコは日本人のライフスタイルまで入り込んで社会にインパクトを与えることができる企業です。環境問題の解決に、私も社員の皆さんと一緒に取り組んでいこうと思います。エフピコなら、必ずやそのミッションを果たすことができる、と信じています。

——貴重なお話をありがとうございました。

- ※1 マテリアルリサイクル：廃プラスチックをプラスチックのまま原料にして新しい製品をつくるリサイクルのこと
- ※2 RE100：事業運営を100%再生可能エネルギーで調達することを目指す国際イニシアティブ
- ※3 Renewable and Recyclable：再生利用が可能であること



エフピコは、社会にインパクトを与えることができる企業なんです。



株式会社エフピコ
独立社外取締役（監査等委員）
末吉 竹二郎

三菱銀行（現・三菱UFJ銀行）退社後、2003年に国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）特別顧問に就任。2010年6月よりエフピコ社外取締役。2018年7月には代表呼びかけ人として気候変動イニシアティブを設立し、9月に世界自然保護基金（WWF）ジャパン会長に就任されました。

エフピコの社員一人ひとりが自分なりのSDGsを考え、業務を進めていただきたいですね。



京都大学大学院地球環境学
准教授
浅利 美鈴様

2004年、京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了。同大環境科学センターの助教などを経て、2016年より現職。主に家庭から出るごみの研究を続けるほか、3R・低炭素社会検定やびっくり！エコ新聞発行など、市民への環境教育や啓発活動を展開されています。

対談

トレーは地球を、生活を豊かにできる。その主役は、エフピコ社員一人ひとり。

エフピコはこれからのような行動をしていけばいいのでしょうか。環境問題に詳しい京都大学の浅利准教授と末吉社外取締役に、お話を伺いました。

社会インフラとしての「エフピコ方式リサイクル」

「エフピコの取り組みについてどのような感想をお持ちでしょうか。」

浅利 食品トレーメーカーという立場でありながら「4者一体」の循環型リサイクルという素晴らしい仕組みを作られた企業だと認識しています。社会のインフラを築いてきたと言っているのかもしれない。

末吉 私も同感です。収益の仕組み、エコ製品などの新製品の開発力、物流網の整備、障がい者雇用など、食品トレーという「単体」でここまでビジネスモデルを構築した企業はなかなかありません。エフピコがマテリアルリサイクル（※1）の方法を開拓したからこそ、食品トレー業界の今がある。エフピコの社員の皆さんにはこのことを誇りに思っしてほしいです。

プラスチックと「持続可能な暮らし」

「持続可能な暮らしとプラスチックの関係についてどのようにお考えでしょうか。」

末吉 プラスチックが環境に与える影響が注目されていますが、どの資源でも有効活用するための方法を考える必要があるのは同じです。高度経済成長期の大量生産・大量消費・大量廃棄の経済ではなく、より豊かな生活を実現するための循環型経済を目指す必要があります。全ての資源の効率化を突き詰めれば、同じ製品をつくる場合でもCO₂の排出量は減る。自ずと「循環型社会」や「脱炭素社会」につながります。

浅利 食品トレーなどのプラスチック製品は私たちの生活と密接に関わっているため、目につきやすい側面もあると思います。「持続可能な暮らし」を実現するための方法を皆が考えなければならぬ。フエーズにきたという印象ですね。

末吉 持続可能性を追求すると、経済が縮小してしまってもありますが、「デカップリング」という言葉があります。これは「分離する」という意味で、「経済成長」と「エネルギー消費」を切り離して考えること。つまり、一定の経済成長や利便性を維持しながら、エネルギー消費を減らしていく考えです。これを実現するには、従来の「モノ」を使うことが豊かさにつながるという価値観を革新し、「持続可能な暮らしが豊かさにつながる」という考え方にシフトさせていく必要があります。

浅利 暮らしを持続可能にするために、食品トレーは多くの貢献をしてくれました。機能の発達で食材の保存期限が伸びたことは、「食品ロス」の削減につながっていますし、レンジで調理できる製品は料理の時間がとれない家庭を支えています。持続可能な暮らしを実現する上で求められているのは「環境にも、人にもやさしい」製品をつくること。エフピコには単に便利になるだけでなく、生活に潤いを与えるような「あたたかい」製品開発を継続してほしいですね。

末吉 食品トレーは私たちのライフスタイルを支えていると思います。私はエフピコの製品を「1日を30時間にする容器」と言ったこともあるのですが、それ

会社概要

2019年9月

商号 株式会社エフピコ
設立 1962年(昭和37年)7月
代表者 代表取締役社長 佐藤 守正
資本金 131億5,000万円
事業内容 ポリスチレンペーパーおよびその他の合成樹脂製簡易
食品容器の製造・販売並びに関連包装資材等の販売
福山本社 〒721-8607 広島県福山市曙町一丁目13番15号
TEL 084-953-1145 FAX 084-953-4911
東京本社 〒163-6036 東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
新宿オークタワー(総合受付36階)
TEL 03-5320-0717 FAX 03-5325-7811



福山本社(広島県福山市)



東京本社(東京都新宿区)



ロゴに使用しているFPは創業当時の社名である「福山パール紙工」に由来しています。

エフピコグループ会社 2019年9月

製造

株式会社エフピコ北海道	株式会社エフピコ笠岡
株式会社エフピコ山形	株式会社エフピコ福山
株式会社エフピコ茨城	株式会社エフピコ神辺
株式会社エフピコ八千代	株式会社エフピコ九州
株式会社エフピコ筑西	エフピコダックス株式会社
株式会社エフピコ下館	エフピコ愛バック株式会社
株式会社エフピコ中部	エフピコアルライト株式会社
株式会社エフピコ富山	エフピコグラフィア株式会社
	西日本ペットボトルリサイクル株式会社

物流

エフピコ物流株式会社
株式会社アイ・ロジック
エフピコイーストロジ株式会社
エフピコウエストロジ株式会社

販売・その他

エフピコ商事株式会社
エフピコチューバ株式会社
エフピコダイヤフーズ株式会社
エフピコインターバック株式会社
エフピコイシダ株式会社
エフピコ上田株式会社
エフピコみやこひも株式会社



株式会社エフピコ

福山本社 〒721-8607 広島県福山市曙町1-13-15 TEL (084) 953-1145
東京本社 〒163-6036 東京都新宿区西新宿6-8-1 新宿オークタワー36F TEL (03) 5320-0717
大阪支店 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島3-6-32 ダイビル本館22F TEL (06) 6441-2468
営業所 札幌、仙台、新潟、静岡、北陸、名古屋、広島、四国、福岡

■ ホームページ <https://www.fpco.jp/> ■ eメール Env-FP@fpco-net.co.jp

